

## わたしの BCL ライフ

JSWC-2857 植之原 耕治（愛知県豊川市在住）

拙著「世界の短波放送攻略法（A4 版 72 頁大林印刷有限公司印刷（2008 年 10 月 1 日発行））をお読みなればすべて書いてありますが、わたしの人生はほとんど短波放送と共にあるようなものです。今でこそ HCJB には QSL を請求しませんが、なにぶんにも、自作の受信機で最初に確認できた放送局が HCJB なので、人生の続く HCJB は第二の故郷になっています。

1957 年夏のことでした。叔父故「田淵哲夫」といっしょに自作した 0-V-1 受信機で HCJB をキャッチしたので、私の短波放送受信も浅からぬ歴史をもっています。普通なら大学受験で短波など聞いている場合ではなかったのですが、職業を選ぶ時も、短波放送を聴ける職業を選びました。ですから、途中で日本語放送の聞き流しという期間はありましたが、通算 60 年近い歴史があります。私の人生＝私の受信の歴史という数式で申し上げても差し支えありません。最初ラジオを自作していたのが中 2 の時でした。小遣いを 250 円？！貯めてトランジスターラジオを自作しました。たったの 250 円ですよ。2500 円でもなく、ましてや、25000 円でもありません。高校生になっても、寮にラジオを持ち込んで聞いていたら、舎監の外国人 S 先生に注意されました。寮にはいろいろ決まり事が多くありましたが、私は短波放送を聴ける大学、学部に入るためにしか勉強はしませんでした。

最初は、電子工学科に入りましたが、ラジオをきけないと分かって、一番楽に、しかもできるだけ長く居れることを考え、8 年の期限いっぱい居ました。ある女性は、年齢は一緒なのですが、“今年の進級生は老けていますね”なんて言っていました。その人も今は 70 歳の筈です。もちろん BCL は欠かせません。なかなか信じてはもらえないのですが、QSL カード（受信証）をもらえるなんて 10 年くらい知りませんでした。どうしてかと言いますと、叔父が全く集めていなかったのです。私どもの高校はミッション・スクールで、英語はもちろんブラザーたちは普段はフランス語で話し合っていました。月曜日の朝は校長先生のお話しは英語でしたが、とくに地方からきた一年生にはチンプン、カンブン・・・3 年生になってようやくわかるようになりました。



大学に進学してようやく 9R59D を買いました。1968 年でした。ただ、ここで一生の「大事件」に遭遇します。交通事故で意識不明となり、進級は遅れるし、ラジオは聞けないし・・・そして、もうひとつ私の人生での大事件がありました。300メートルの巨大アンテナの設置をめざしていたのですが、リード線の先に少し重みのある石をつけて中間地点をめざして投げた途端、「ドカーン」という音響とともに数万ボルト電線がショート！爆発！！谷間に爆音が響き渡ったのです。人々が何事が起こったのかと飛び出したのですが、山の上だったのでよく見えました。「そうか、電線を飛び越えて向こうに渡すのは素人じゃ無理か・・・」今思うとなんと浅はかな考えだったのかと反省させられています。

琵琶湖（長浜）でのリスナーの集いには出席させていただきました。4000m のアンデスの山から降りて今は米国から放送されておられるとのこと。私にとってはアンデスをはじめ、世界の街・・・人々・・・広い世界が好きで興味があるので電波で世界を駆け巡らせてもらっています。これがわたしの BCL ライフです。（2014 年 9 月）



## サタデー・トーク

## バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
9 月 7 日	ハムフェアへようこそ（上）	9 月 8 日	ハムフェアへようこそ（下）
9 月 14 日	赤道に降りた宇宙飛行士 エク！	9 月 15 日	お便り交換の時間
9 月 21 日	アメリカ新発見の旅（1）生い立ち	9 月 22 日	聖書遊覧バス 旧約聖書 箴言
9 月 28 日	マリンバの調べ	9 月 29 日	聖書遊覧バス 旧約聖書 箴言

放送後の番組は、ホームページ(<http://reachbeyond.chowder.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3 形式）



放送時間：日本時間 午前 7 時半～8 時 17650kHz （再放送） 午後 8 時～8 時 30 分 15460kHz  
（米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信）

